

鉄道ピクトリアル

1967年12月号 Vol. 17 No. 12

<地下鉄特集>

昭和22年暮れ上野一浅草間2.2キロでスタートした東京の地下鉄は、現在では86.7キロ(含都営)に達し、41年度中に運んだ乗客が7億2000万人(世界7位)という、40年のあとをふりかえり将来にふれてみよう。

- 表紙 「通勤輸送の花形」……………帝都高速度交通営団 提供
- カラー頁 「'67年の人気者」……………佐竹 保雄 撮影
- グラフ

<地下鉄特集>

- 営団地下鉄①銀座線・丸ノ内線……………交通営団・高松吉太郎・堀江光雄・植田正博・石川尹己…12
- 営団地下鉄②日比谷線・東西線……………交通営団・岸幸男・東瑞夫・堀江光雄…14
- 都営地下鉄……………都交通局・飯島正一・岸幸男・篠原力…16
- 大阪市営地下鉄・名古屋市営地下鉄……………大阪交通局・小林庄三・白井良和…18

- 第9回指定/鉄道記念物……………国有鉄道 提供…11

<第12回鉄道写真コンクール作品集>

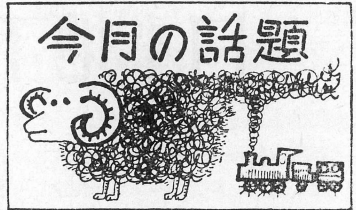
- 木曾川橋りょう(入賞)……………勝 田 薫…43
- 出で立つ2頭(入賞)……………望 月 泉…44
- 盛岡の夜……………桑 原 一…45
- 10月1日の感激 JNR時刻改正をめぐって……………佐竹保雄・紀平高弘・河昭一郎…46
- 9月30日の感傷 JNR時刻改正をめぐって……………
 - ……………柏木璋一・高塚雅文・渡辺 肇・米田 修…48
- 宮崎の午後(第12回鉄道写真コンクール作品・解説42頁)……………加藤 弘行…50
- 東アフリカの蒸気機関車……………高田 隆雄…52
- 南海電気鉄道⑥…雑形車を追って……………藤井 信夫・吉川 寛…56
- 新清水トンネルをめぐって……………岸 幸 男…58
- トピックフォト
 - 九州・中国・関西・中部・北陸・関東・東北・北海道だより……………83

■本 文

<地下鉄特集>

- 日本地下鉄の現状と計画路線……………和久田康雄…4
- 東京地下鉄建設譜—営団地下鉄の40年……………清 水 力…19
- 営団地下鉄の将来計画……………平峰 幸男…24
- 営団地下鉄車両概史〔上〕……………里 田 啓…26
- 都営地下鉄の現状と将来……………松本 成男・吉 田 嵩…33
- 地下鉄用車両について……………里 田 啓…39
- 北大阪急行電鉄建設計画について……………住 野 尚…62

- 42年度運輸白書から……………3
- 42年度鉄道記念物について……………阿井 卯栄雄…10
- 鉄道の話題……………42
- 新清水トンネル七不思議……………編集部 選…59
- 東アフリカの蒸気機関車……………高田 隆雄…60
- 私鉄車両めぐり〔73〕南海電気鉄道⑤……………藤井 信夫・吉川 寛…64
- 書評⑩私鉄ガイドブックシリーズ……………和久田康雄…75
- 東北ローカル線シリーズ②奥羽横断幹線の陸羽西線(含左沢線)久保田 博…76
- 41年度国鉄輸送実績……………平 野 亨…78
- 車両の動き……………80
- 10月のメモ帳……………82
- 質問に答える……………91
- 読者短信……………92
- T T Kだより・後部車から……………95



今月の話題

カット 土屋 昭雄画

42年度運輸白書から

10月17日発表された運輸白書を本誌向けに抜粋するとつぎの通り。
 ▽国内輸送の動向 41年度の貨物輸送量は2,094億トンキロで、40年度に比べ12.4%増と、好調な伸張ぶりをみせた。その主役は自動車輸送で、対前年4.1%増と大巾にふえ、振るわなかった鉄道輸送をカバーした。このため輸送のシェアは鉄道と自動車の順位が初めて逆転①内航海運42%②自動車31%③鉄道27%となった。
 旅客輸送は景気変動の影響をあまり受けない事情もあり4,028億人キロで、前年度に比べ5.4%の伸びにとどまった。中でも国鉄の定期外旅客が27年度以来初めて減り、私鉄も前年度より減ったのが目立つ。これは自家用車の普及、運賃の値上げで近距離旅客が自家用車に転移したものの▽地域経済と輸送構造 輸送需要は工業集積地である太平洋ベルト地帯に集中し、この地域で旅客の全国総流動の69%、貨物の全国総流動の48%を占めた。輸送施設の分布でみても、南関東・阪神・東海の3地域にわが国全体の約40%が集中している▽地域経済と輸送近代化の方向 港湾施設と一体で整備された臨海工業地帯・東海道新幹線・高速自動車道などはこれまででも地域経済において先駆的役割を果たした。太平洋ベルト地帯ばかりでなく、国土の均衡ある発展のため流通体制の整備が必要。
 ▽むすび 貨物輸送のコストを引下げのためディストリビューションセンターの設置、ターミナル機能を裏づけとする大量輸送・専用輸送を積極的に押しすすめる必要があり、大都市交通の混雑緩和には、鉄道・道路などについて効果的な先行投資をすすめ、都市構造を改革する必要があり、とくに宅地開発を目的とした通勤超高速鉄道の建設を検討しなければならない。

〔表紙〕「通勤輸送の花形」

帝都高速度交通営団 提供
 5000系軽合金車 阿佐ヶ谷—荻窪間 '66-4-28
 リンホフタクニカ 4×5 絞り8 タイム1/200s フジカラー-R100

〔カラー頁〕「'67年の人気者」

佐竹 保雄 撮影
 1M特急「みどり」 須磨—塩屋間 '67-10-8
 ゼンザプロニカS2 ニッコールF3.5 75mm 絞り5.6 タイム1/500s エクタクロームEP

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI
 New Kokusai Bldg. Marunouchi
 3-4, Chiyodaku, Tōkyō/Japan